

○ とちぎユースチャレンジ応援事業活動実績

平成28(2016)年度

団体名	鹿(しか)猫(ねこ)	宇都宮大学あいあい食堂	ぼたり
所在地	鹿沼市	宇都宮市	栃木市
事業の概要	<p>(短期/事業規模:99,744円) 【構成員】 代表:金子智英(公務員) 社会人8名</p> <p>【事業名】 木リンピック</p> <p>【事業目的・実績】 ○木のまち鹿沼を広く市内外にPRするとともに、木育の一環として「木まち」お意識を高める機会とする。また、若者が中心となって子どもから大人まで遊べる場を創出し、「地域の子カラ」を醸成し、世代間交流と地域コミュニティの充実を図る。</p> <p>・11月26日(土)/27日(日):木リンピック(粟野勤労者体育館) ・2日間で500名以上が来場</p> <p>【事業の効果】 ・市内の業者等に協力を依頼し、子どもから大人まで遊べる木製遊具を制作できた。 ・遊びを通して、参加者が鹿沼産木材を身近に感じたり、直接木材に触れることで、老若男女問わず、木のもつ温かさを感じたりできる機会を創出できた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:40,353円) 【構成員】 代表:松田悠希(宇都宮大学) 宇大生7名</p> <p>【事業名】 コミュニティ食堂</p> <p>【事業目的・実績】 ○貧困家庭の子どもたちが大勢で食事を楽しんだり、学習したりできる居場所を創出する。</p> <p>・10月から2月までの計5回実施(18:00~20:00) 10月28日、11月25日、12月16日、1月27日、2月24日 (コミュニティビジネス支援施設「ソノツギ」)</p> <p>【事業の効果】 ・利用する子どもたちと大人が楽しく話をしながら会食したり、食事後にそれぞれが好きな時間を過ごせるように工夫したりすることで、居心地の良い空間づくりを行うことができた。</p>	<p>(短期/事業規模:93,645円) 【構成員】 代表:神山裕紀(社会人) 社会人1名</p> <p>【事業名】 栃木市を想うアラサー同窓会</p> <p>【事業目的・実績】 ○シェアスペースの運営をとおして、栃木市にUJターンした30歳前後(アラサー世代)の就業・起業・出店・就農者や東京・栃木間を行き来する事業者をゲストに招き、トークセッションを開催することで同世代の取組や地域課題について語り合う同窓会を開催する。</p> <p>・2月26日(日) トークゲスト4名によるトークセッション グループトーク(交流会) (シェアスペース「ぼたり」)</p> <p>【事業の効果】 ・様々なトークゲストに30歳を迎えるまでの道のりや栃木市への思い、今後の展望を語ってもらうことで参加者が栃木市での生き方・働き方等について考えを深める機会を提供できた。</p>

平成29(2017)年度

団体名	横枕青年団 未来会	あいあい食堂(H28～)	こどものまちUST実行委員会
所在地	那須烏山市	宇都宮市	宇都宮市
事業の概要	<p>(短期/事業規模:153,882円) 【構成員】 代表:掛札研輔(社会人) 社会人15名</p> <p>【事業名】 ど田舎創生 横枕青年団 ど田舎祭り</p> <p>【事業目的・実績】 ○横枕地区全世帯を対象としたイベントを開催し、地域住民の交流の場を創出したり、地場産食材を使用した模擬店を出店したりすることで、地域の魅力を再発見・再発信し地域への愛着形成を図る。</p> <p>・10月28日(土):横枕青年団 ど田舎祭り (みつわ工房GH駐車場) ・来場者 約200名</p> <p>【事業の効果】 ・地域の若者が参画し、次世代リーダーの育成と新しい青年団活動の体制づくり強化につながった。 ・地域の育成会と連携し、地域の子どもたちを対象としたイベントを実施することで、地域への愛着形成のきっかけをつくることのできた。 (「いつまでもここに住んでいたい」、「また戻ってきた」と思える地域づくりにつなげることができた。)</p>	<p>(中・長期/事業規模:87,279円) 【構成員】 代表:松田悠希(宇都宮大学) 宇大生6名</p> <p>【事業名】 コミュニティ食堂</p> <p>【事業目的・実績】 ○20代学生や社会人を対象として、「食」という身近なテーマから異文化に触れたり、公的機関・団体等の体験報告会に参加したりしながら、青少年が国際交流への興味を高めるきっかけを作る。</p> <p>・毎月1回開催(8月からは2回開催)</p> <p>【事業の効果】 ・昨年度の事業実施における利用者からの声を反映して、開催回数を月2回に増やし、利用促進を図ることができた。 ・回数増加直後は、大人の利用者しかなかったが、広報活動を工夫し、親子での利用を増加させることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:126,488円) 【構成員】 代表:落合安純(宇都宮大学) 宇大生4名</p> <p>【事業名】 こどものまちUST</p> <p>【事業目的・実績】 ○異年齢、他校の子どもたち同士が、大人とのかかわりを通して、社会の仕組みを学ぶ</p> <p>・6月:「こどものまちづくり隊」募集・近隣小中学校・高校への広報(学校数7校) ・7月:実行委員会開催 8月～1月:広報活動・実行委員会開催 2月17(土)・18(日):こどものまちUST (宇都宮大学学生会館2F)</p> <p>【事業の効果】 ・2日間で130名(17日:67名、18日:63名) ・異年齢、他校の子どもたち同士、大人のかかわりにより、参加者が新たな知見を得たり、視野を広げたりすることができた。 ・子どもたち自身が運営に携わることにより、社会のしくみを自主的・自律的に理解することができた。</p>

団体名	一般社団法人えんがお	チャレンジング SHS (South High school)	水樓む森
所在地	大田原市(関係団体:とちぎユーススポーツネットワーク)	那須塩原市(たんぼぼの会)	日光市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:328,575円) 【構成員】 代表:濱野将行(一般社団法人えんがお代表理事) 社会人1名</p> <p>【事業名】 市民参加型支え合いプロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○地域の若者を中心に、高齢者の「介護予防」や「孤立化予防」とその解消に向けた仕組みづくり及び実践を行う。</p> <p>・7月から1月にかけて、週に1～2回程度の生活支援</p> <p>【事業の効果】 ・依頼件数77件、会話時間2640分(44時間) ボランティア参加者 延べ215人 ・高齢者の困りごとの中で、介護保険で対応できないものに対しては、学生ボランティアと地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携し対応できた。 ・地域の商工会とつながり、地域課題であった空き家を改修・有効活用し、事業を推進した。 ・高齢者を支援する仕組みを整えることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:162,854円) 【構成員】 代表:林 祐亜(黒磯南高校) 黒磯南高生6名、社会人1名</p> <p>【事業名】 チャレンジング (South High School)</p> <p>【事業目的・実績】 ○地元事業の夏祭りに高校生が参画し、多世代との交流とコミュニケーション力の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを目指す。</p> <p>・8月20日(土):夏祭り(埼玉小学校校庭)</p> <p>【事業の効果】 ・少子化が進み、子ども育成会活動に影響が出ている埼玉地区において、子どもたちを対象としたイベントを実施し、地域を盛り上げることができた。 ・イベントを通して、世代間交流が促進され、新たな人のつながりが生まれた。</p>	<p>(短期/事業規模:117,250円) 【構成員】 代表:橋本春加(社会人) 社会人4名</p> <p>【事業名】 フォレストスクール</p> <p>【事業目的・実績】 ○地元小学生を対象に、人工林の山が荒廃している現状を知り、人工林を守る取組として「伐って使って、植える」という循環を大切にすることや、地域木材資源の利用による環境貢献と地域産業の活性化を図る。</p> <p>・12月18日:伐採製材見学ツアー (日光市城山山内) (株式会社大和木材工場)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者17名 ・木が伐り倒される様子を目の前で見学し、その丸太がどのような手順で加工される課程を参加者が理解することで、自然に目を向けるきっかけをつくることのできた。 ・作業実演と簡単な木工体験教室を実施することで、参加者が木材に触れ、環境への意識を高める機会をつくることのできた。</p>

平成30(2018)年度

団体名	私たちのあしあと	「食」を通じて世界を知ろう実行委員会	とっておきの音楽祭 inうつのみや準備委員会
所在地	那須塩原市(関係団体:那須塩原市たんぼの会)	宇都宮市(関係団体:栃木県IYEO)	宇都宮市(関係団体:NPOセンター ぼ・ぼ・ら)
事業の概要	<p>(短期/事業規模:185,224円) 【構成員】 代表:小倉実季(黒磯南高校生徒会副会長) 黒磯南高生3名 社会人1名(家庭教育オピニオンリーダー)</p> <p>【事業名】 JK×festival アタラシイマツリ</p> <p>【事業目的・実績】 ○新設2年目の埼玉小学校の「埼玉コミュニティ事業」に高校生が企画提案・参加し、地域への愛着を育むとともに、世代間交流の促進を図る。</p> <p>・7月上旬:コミュニティ盆踊り企画会議への参加 8月19日(日):会場準備、運営補助、模擬店出店(埼玉小学校) 8月20日(月):会場片付け、清掃活動</p> <p>【事業の効果】 ・小・中学生、他地域の高校生、地域住民の多世代間交流が促進された。 ・学校を核とした地域コミュニティづくりを進める中で、若者の視点を生かした企画・運営を行い、若者のコミュニティスキルの向上と、地元への愛着を深めることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:105,072円) 【構成員】 代表:遠藤友紀(社会人) 社会人1名</p> <p>【事業名】 「食」を通じて世界を知ろう～調理実習/外国人の自文化紹介レクチャーを通して～</p> <p>【事業目的・実績】 ○20代学生や社会人を対象として、「食」という身近なテーマから異文化に触れたり、公的機関・団体等の体験報告会に参加したりしながら、青少年が国際交流への興味を高めるきっかけを作る。</p> <p>・9月22日(土):イベント内容の検討 10月5日(金):当日の流れ、調理内容、広報の検討 図書館・役所・国際交流団体、高校へのちらし・案内送付 12月16日(日):「作ろう! 食べよう! 学ぼう! オージランチパーティー」の開催(宇都宮市総合コミュニティセンター2F)</p> <p>・参加者18名</p> <p>【事業の効果】 ・会場内展示やイベントにおける講師との積極的な交流により、参加者の異文化への理解が深まり、国際交流や関連事業への関心が高まった。</p>	<p>(中・長期/事業規模:144,334円) 【構成員】 代表:沼野彩香(のざわ特別支援学校教諭) 特別支援学校教員、社会人各1名</p> <p>【事業名】 とっておきの音楽祭 inうつのみや</p> <p>【事業目的・実績】 ○障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に音楽を楽しむ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指す ストリート音楽祭の開催を目指す。</p> <p>・9～10月:準備委員会(実行委員会)開催 ・11～2月:実行委員会・企画運営会議開催 ・2月24日(日):プレ音楽祭 パルティ 男女共同参画センター 映画上映と音楽祭による2部構成</p> <p>【事業の効果】 ・延べ200名来場 ・映画上映や音楽祭での全編字幕や手話通訳等のユニバーサル上映、車椅子来場者等へ配慮した環境の整備を取り入れて事業を実施し、実績を残すことができた。 ・環境面だけではなく、今の社会の生きにくさや心のバリアフリーについて考える機会を提供できた。</p>

団体名	ミライ×キャンパス実行委員会	Your Dream	カラフルうつのみやキッズ
所在地	宇都宮市(関係団体:とちぎユースサポーターズネットワーク)	那須塩原市(関係団体:たんぼの会)	宇都宮市(関係団体:栃木県若年者支援機構)
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:71,097円) 【構成員】 代表:山崎千織(宇大農学部) 宇大生・大学院生6名、他大1名</p> <p>【事業名】 ミライ×キャンパス2018</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内、県外で活躍する先輩、同世代をゲストとして招いたトークセッションやゲスト団体の活動内容体験会を実施し、高校生や大学生、若者が「自分」や「地域」を好きになるとともに、「ミライ」について考え交流する場を設定する。</p> <p>・9月9日(日):自分×ミライ「〇〇で不安だったのか」 11月11日(日):地域×ミライ「地域で発見、ミライの兆し」 1月20日(日):仕事×ミライ「働くミライって何だろう」 2月24日(日):イマ×ミライ「ミライは変わる、イマ動け」(宇都宮まちづくり交流センター「イエローフィッシュ」)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者が自己理解を深め、地域課題に目を向ける経験を通して、自分の将来について考えたり、行動したりしようとする意欲を高めることができた。 ・ゲストスピーカーによる「働くこと」や「社会人になること」に関する講話から、参加者が自身の仕事観や働くことに対する価値観の形成につなげることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:84,031円) 【構成員】 代表:大鹿哲太(那須清峰高校生徒会長) 那須高生・那須拓陽高生各1名(生徒会長)、 社会人1名</p> <p>【事業名】 高林寺地区夏祭り</p> <p>【事業目的・実績】 ○伝統芸能の継承と新しい祭りの融合をテーマに、音楽を中心とした地域住民の交流の促進を図る。</p> <p>・6月13日:企画会議参加 6月18日:LINE会議 7月:運営会議 8月11日(土):夏祭り(高林寺境内)</p> <p>【事業の効果】 ・地域にある寺院を会場とし、寺院の取組と連携して事業を展開することで、60年ぶりの夏祭りを実施することができた。 ・高齢者が若者に踊りを教える姿が見られるなど、小学生から高齢者までの多世代間の交流の促進が図られた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:40,035円) 【構成員】 代表:荻野友香里(一社栃木県若年者支援機構職員) 社会人3名</p> <p>【事業名】 宇都宮市にくらす、外国にルーツを持つ子どもたちのサポート事業</p> <p>【事業目的・実績】 ○外国にルーツを持つ小・中学生が、日本語学習や日本文化・日本料理の体験を通して、新たな友達をついたり、日本の暮らしになれたりすることができ、日本を好きになれる機会を創出する。</p> <p>・8月～2月に計14回(各月2回、10月のみ3回) 毎週火曜日 日本語学習サポート (キッズハウス いろいろ) ・延べ参加人数20名 ・2月23日(土):「食」と「遊び」をとおして世界を知る、「ワールドキッズフェスタ」の開催</p> <p>【事業の効果】 ・コミュニケーション力が低く、経験不足が心配される子どもたちの学習意欲や能力の向上を図ることができた。 ・対象となる子どもたちが友達の輪に入り、楽しそうに活動する姿が見られた。 ・子どもたちの個々のニーズに合わせた事業を展開することができた。</p>

令和元(2019)年度

団体名	ミライ×キャンパス実行委員会(H30～)	とちぎ高校生蔵部OBOG会	Your Dream Kuroiso
所在地	宇都宮市(関係団体:とちぎユースサポーターズネットワーク)	栃木市(関係団体:とちぎ高校生蔵部)	那須塩原市(関係団体:たんぼぼの会/一社えんがお)
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:101,021円) 【構成員】 代表:山崎千織(宇大農学部) 宇大生3名、白鷗大生1名、宇都宮共和大生1名、国際医療福祉大生1名</p> <p>【事業名】 ミライ×キャンパス2019</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内、県外で活躍する先輩、同世代をゲストとして招いたトークセッションやゲスト団体の活動内容体験会を実施し、高校生や大学生、若者が「自分」や「地域」を好きになることや「ミライ」について考え交流する場を設定する。</p> <p>・12月14日(土):環境×ミライ「企業と地域と私たち」(宇都宮まちづくり交流センター「イエローフィッシュ」) 2月22日(土):スペシャル講義「先輩に学ぶ」(宇都宮大学峰ヶ丘講堂)</p> <p>【事業の効果】 ・第1回は12名、第2回は17名が参加。(大学生を中心に、高校生や社会人も参加) ・企業の環境への取組に関する話や漫画家・デザイナー・映画監督の各ゲストスピーカーによる話から企業努力やその職業に就くまでの苦労等を学び、今後の進路選択につなげる機会を提供できた。 ・講話後に行ったワールドカフェ形式の意見交換会を通して参加者同士の学びを深めることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:73,345円) 【構成員】 代表:大森美彩希(社会人) 学生5名、社会人10名</p> <p>【事業名】 GOMIモンGO 街をピカピカ中!</p> <p>【事業目的・実績】 ○蔵の街栃木を訪れた観光客に、きれいに清掃された街を堪能してもらるように、ワークショップ(清掃活動)を蔵の街大通りで実施する。</p> <p>・8月4日(日):第1回(蔵の街大通り)、11名参加 10月6日(日):第2回(巴波川周辺)、9名参加 1月19日(日):第3回(市民活動センター)5名参加</p> <p>【事業の効果】 ・清掃活動や環境カウンセラーの研修を踏まえて、ごみが捨てられやすい環境と人間心理について学び、地域の環境保全に必要な知識を得ることができた。 ・市民活動推進センターと連携した取組を行い、地域の地理的特徴と災害ごみとの関連を調査し、地域への理解を深めることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:99,033円) 【構成員】 代表:菊地奏太(黒磯南高校) 黒磯南高生1名、社会人3名</p> <p>【事業名】 ベンチプロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○ベンチプロジェクトの賛同者と街中のベンチを増やすとともに、ベンチ設置による交流の場を生み出し、その結果を検証する。</p> <p>・ベンチを設置した日付・場所等 8月3日(土):高林寺夏祭り 11名利用 8月25日(日):大田原朝市 4名利用 10月27日(日):巻きがりまつり 6名利用 12月28日(土):お互いさま広場 13名利用</p> <p>【事業の効果】 ・実証実験を行うことで、ベンチ設置における地域住民の交流促進効果を検証することができた。 ・地域自治会と協力し、ベンチに加えて看板を設置し情報発信と利用促進を図ることができた。 ・ベンチ設置により、地域住民の人と人との新たな接点を生み出すことができた。</p>

団体名	Your Dream ♪		
所在地	那須塩原市(関係団体:たんぼぼの会)		
事業の概要	<p>(短期/事業規模:148,109円) 【構成員】 代表:角田隼也(宇都宮高校) 那須拓陽高生・矢板高生各1名、社会人1名</p> <p>【事業名】 高林寺夏祭り</p> <p>【事業目的・実績】 ○昨年度の事業を踏まえ、地元子どもたちの夏祭りへの参加意識を高め、若者の社会参画の意識を高める。</p> <p>・8月3日(土):夏祭り(高林寺境内)</p> <p>【事業の効果】 ・2年目の事業となる今年度は、地域の若者だけではなく、他地域の若者と連携して事業を実施できた。 ・中学生と高校生の連携を図り、縦の関係を築くことができた。 ・ベンチプロジェクトとの連携を図り、地域住民同士だけではなく、他地域の参加者と地元住民との交流が活性化された。</p>		

令和2(2020)年度

団体名	特定非営利活動法人 キーデザイン	とちぎカメラ部	未来創造ネットワーク白鷺
所在地	宇都宮市(とちぎユースサポーターズネットワーク) (一般社団法人若年者支援機構)	宇都宮市	小山市
事業の概要	<p>【中・長期/事業規模:91,413円】 【構成員】 代表:土橋優平(NPO法人キーデザイン代表理事) 宇大生1名、宇大院生1名</p> <p>【事業名】 不登校に悩むお母さんお父さんの無料LINE相談窓口「お母さんのほけんしつ」</p> <p>【事業目的・実績】 ○子どもの不登校に悩む保護者を対象に、無料(制限なし)のLINE相談窓口を開設し、悩みや困りごとの解決を図る。また、相談から次の一歩となるフリースクールや親の会等へのつながりづくりを行う。</p> <p>・LINEオフィシャルアカウントにて相談窓口「おかあさんのほけんしつ」を開設(R2.5.25～)した。 ・友だち登録数390件、130名以上の相談を受けた。 ・相談後に支援団体へのつながりや学習サポートを行ったり、「ほけんしつ」のミニカード(名刺サイズ)を作成・配布し、悩みをもつより多くの保護者やNPO団体、企業等へ周知を行ったりした。</p> <p>【事業の効果】 ・相談業務により、辛い立場にある保護者の助けになるとともに、家庭内だけでは解決できない問題に対する保護者のストレスの軽減につなげることができた。 ・相談業務だけに止まらず、次につながる支援先との連携など、幅広い支援を行うことができた。</p>	<p>【中・長期/事業規模:91,137円】 【構成員】 代表:須賀未樹(宇都宮共和大学) 文星芸大生、帝京大生、白鷺大生各1名 社会人4名</p> <p>【事業名】 とちぎカメラ部</p> <p>【事業目的・実績】 ○栃木県の新しい魅力(人・団体・観光地・飲食店等)を積極的に発信し、地域の活性化を図る。</p> <p>・2月13日・14日:「charm in tochigi ～魅力を栃木で見つける～」 栃木県の魅力を発信する写真展(caffe ink blue2階レンタルスペース) 栃木県の魅力の発信と世代や団体を越えた交流を行った。</p> <p>・ポストカード撮影・製作 日光にある2つの店舗を撮影した写真を使って、ポストカードを制作した。</p> <p>【事業の効果】 ・写真展 2日間で62名来場。 ・写真展を開催し、栃木県の魅力発信と世代間の交流が促進された。 ・ポストカード作成にあたって、日光市内の店舗に協力を依頼し、事業者と連携した取組を行うことができた。</p>	<p>【中・長期/事業規模:68,379円】 【構成員】 代表:中村永遠(白鷺大学) 白鷺大生14名、白鷺教授1名</p> <p>【事業名】 小山まちなか調査隊</p> <p>【事業目的・実績】 ○小山市の小学生に、地域の歴史や伝統に対する魅力を再発見してもらい、小山市に対する愛郷心を育む。</p> <p>・12月19日(土):フィールドワーク 市民活動センターおやま～ 小山駅西口の11店舗 ・2月14日(日):下野人形づくり</p> <p>【事業の効果】 ・小山市内でのフィールドワークにおいて、小山駅西口11店舗に協力を依頼し、インタビューや体験活動を行うことで、参加者の地域に対する理解が深まった。 ・伝統工芸品制作体験では、小山市の無形文化財に指定されている下野人形づくりを行い、伝統文化に親しみ、市の魅力の再発見する機会を設けることができた。</p>

団体名	NPO法人 シェアハッピーエール	栃木きょうだい会	とちぎ高校生蔵部OBOG会(R1～)
所在地	宇都宮市(関係団体:NPOセンターぽ・ぼ・ら)	那須塩原市	栃木市
事業の概要	<p>【中・長期/事業規模:円】 【構成員】 代表:渡邊優那(NPO法人シェアハッピーエール代表)、社会人4名</p> <p>【事業名】 ゲーム体験とお絵かきを通して学ぶ「小学生にもわかるSDGs」</p> <p>【事業目的・実績】 ○小学生がSDGsについて学び、「分かち合うことの大切さ」について理解を深めることを目的とし、子どもたちにとって、親和性の高いコンテンツを使った啓発を行う。</p> <p>・7月～2月までに県内小中学校やフリースクールでワークショップの実施や小冊子を配布。 ・マイクラフトを用いて分かち合う世界と奪い合う世界を再現し、それらをYouTubeで発信。 ・県内の小・中学校やフリースクールで、持続可能な世界の実現について体験できるボードゲーム「Get The Point」を使ったワークショップを実施。 ・啓発資料として小冊子「楽しく学べる!SDGs」を作成して、協力を得た県内小中学校や地区市民センターに設置。</p> <p>【事業の効果】 ・ワークショップや啓発資料等を有効に活用し、参加した子どもたちのSDGsへの理解が深まった。</p>	<p>【短期/事業規模:92,754円】 【構成員】 代表:仲田海人(社会人) 社会人4名</p> <p>【事業名】 ケアラーたちが思う人生観を共有するシンポジウム</p> <p>【事業目的・実績】 ○様々な立場のケアラー(高齢・身体上、精神上の障がいまたは疾病等により援助を必要とする親族友人等の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上等の援助を行っている人)が集い、家族が自分らしい人生を送るためにはどうすればよいかというテーマについて、様々な切り口で考えるためのシンポジウムを開催する。</p> <p>・12月30日～1月31日(オンライン公開) ・事前に撮影した動画に字幕をつけ、YouTubeで視聴できるように設定。 ・アンケート用の入力フォームの作成。</p> <p>【事業の効果】 ・視聴者数 640名、アンケート回答者50名 ・親やきょうだいの立場など、さまざまな視聴者を想定した内容にすることで、ケアラーが抱える悩みや課題を広く発信し、当事者以外のケアラーへの理解を促したり、当事者へ専門的見地からの助言を得る機会を設けたりする場を提供できた。</p>	<p>【中・長期/事業規模:89,793円】 【構成員】 代表:清水慶也(社会人) 社会人7名、学生7名</p> <p>【事業名】 Harry Pottyaryと非密の部屋掃除</p> <p>【事業目的・実績】 ○現代の清掃ではなかなか使用されていない栃木市の伝統工芸品である「都賀の座敷箒」を清掃に使用し、伝統文化を後世につないでいくための使用法を考え、SNS等で発信していく。</p> <p>・9月2日(水):ホウキモロコシの収穫(ぬい農園) ・9月19日(土):湯通し・脱穀(ぬい農園) (栃木農業高校) ・10月17日(土):ホウキモロコシの種の収穫(同上) ・10月18日(日):箒職人による箒作りの指導 ・11月7日(土):箒作り①(パーラートチギ) ・11月22日(日):箒作り職人による指導 ・12月13日(日):箒作り②(パーラートチギ) ・1月9日(土):動画作成(パーラートチギ)</p> <p>【事業の効果】 ・箒の原材料となるホウキモロコシの栽培・収穫を行ったり、箒職人の指導の下で制作したりすることで、伝統工芸に対する理解を深めることができた。 ・栃木農業高校農業環境部や農園経営者の指導・協力を得ながら取り組むことができた。 ・InstagramとTwitterでの動画配信により、都賀の座敷箒の魅力をより多くの若者に発信できた。</p>

令和3(2021)年度

団体名	ユースボランティアはためく	U-campus実行委員会	棚田復活プロジェクト
所在地	矢板市	宇都宮市(とちぎユースサポーターズネットワーク)	茂木町
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:70,296円) 【構成員】 代表:古河原花菜(国際教養大学) 国際医療福祉大生1名、白鷗大生7名、社会人1名、その他1名</p> <p>【事業名】 ジェンダーについてもう一度考えるイベント"Re Think"</p> <p>【事業目的・実績】 ○学生を含む地域住民に対して、男女平等や「女性らしさ・男性らしさ」、LGBTQ+など、ジェンダーに関する諸問題を自分事として考えるための情報展示やディスカッション、講演等を行い、ジェンダーの在り方を再考する機会を設ける。</p> <p>・6月25日(金)～27日(日)第1回 Re Think ～多様な性のあり方とわたくしたち～ ・10月15日(金)～17日:第2回 Re Think ～ジェンダーからみる「らしさ」～ ・12月5日(日):第3回 Re Think ～知ることからはじまる。あなたと「多様な性」のおはなし。(講演会・ディスカッション) ※会場はすべて、矢板にぎわい館</p> <p>【事業の効果】 ・第1回参加者:3日間で81名 ・第2回参加者:3日間で22名 ・第3回参加者:現地12名、オンライン14名 ・各イベントを通して、ジェンダーに関する諸問題を自分事として捉える機会を提供できた。また、大学准教授による講演会を企画し、専門的知識を得る場を設定し、参加者と問題意識を共有できた。</p>	<p>(短期/事業規模:73,135円) 【構成員】 代表:大塚彩菜(coe college) 国際基督教大生、東京学芸大生、慶応大生各1名、 king's college London生1名、宇大生3名</p> <p>【事業名】 U-campus</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内の高校に在籍している又は県内在住の高校生が、自分への理解を深めたり、多様な選択肢を模索したりするワークショップを通して、進路選択に対する視野を広げ、自分の将来設計について考えるイベントを開催する。</p> <p>・8月21日(土)・22日(日):第1回U-campus (cafe ink blue)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:2日間で14名 ・進路選択に関するワークショップを通して、自分についてより深く知ったり、学年段階に応じて進路選択の幅を広げたりすることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:118,912円) 【構成員】 代表:渡邊幸樹(宇都宮大学農学部) 宇大生8名</p> <p>【事業名】 茂木町耕作放棄地棚田復活プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○茂木町で耕作放棄地となっている棚田を復活させることを通じて、農村文化を守り、活動にかかわる大学生と地域住民の交流を促進する。</p> <p>・5月:田植え ・7月11日(日):草取り ・7月17日(土):ホテル観察会 ・8月7日(土)・28日(土):草取り・防護ネット設置 ・9月25日(土):稲刈り・おだかけ ・10月10日(日):脱穀 ・11月14日(日):収穫祭 ・12月26日(日):もちつき参加</p> <p>※会場はすべて、茂木町早坂の家、早坂の棚田</p> <p>【事業の効果】 ○中山間地域の棚田の景観維持や周辺の環境保全に大きく寄与するとともに、地域住民との積極的な交流を図り、里山の魅力発信と地域課題の解決に取り組むことができた。</p>

団体名	4大学連携ゼミアントレプレナー研究会	佐野市の子どもを応援する学生の会	未来の学校
所在地	宇都宮市(とちぎユースサポーターズネットワーク)	佐野市(NPO法人子どもとなり佐野)	那須塩原市(たんぼぼの会)
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:72,740円) 【構成員】 代表:山内祥輝(作新学院大学) 宇都宮共和大生3名、作新大生・文星芸大生2名、帝京大生1名</p> <p>【事業名】 とちぎ学生・若者チャレンジ応援プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○宇都宮市内の4私立大学(作新学院大学・文星芸術大学・宇都宮共和大学・帝京大学)と行政、企業、NPO、クリエイター等が連携し、創造都市宇都宮圏の形成に向けたアイデアを出し合い、それを具現化するための交流の場を設ける。</p> <p>・11月26日(金)第1回講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・12月10日(金)第2回 講師:とちぎユースサポーターズネットワーク代表理事 岩井俊宗氏 ・12月21日(火)第3回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・1月14日(金)第4回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・1月21日(金)第5回 講師:光琳寺住職 井上広法氏</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:7名(全5回共通) ・起業や活動を始めようとする若者・学生を対象として、専門的な知識を有する起業の先輩を講師に迎え、「はじめの一歩」を踏み出すために必要なスキルの向上を図ることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:25,042円) 【構成員】 代表:山本朋果(佐野高校) 佐野高生8名、足女高生2名、佐野東高生1名、文教大生1名、専門学生1名、社会人1名</p> <p>【事業名】 子どもの笑顔種まきプロジェクト</p> <p>【事業の概要】 ○困難を抱える子どもたちを対象とした夏祭りや秋・冬のイベントを開催し、参加する子どもたちが、よりたくさんの人とかかわる楽しさを感じることで交流の場を創出する。</p> <p>・7月23日(金):フードドライブ準備(子どものとなり佐野) ・8月1日(日):フードドライブ準備(子どものとなり佐野) ・9月4日(土):佐野高校旭城祭(佐野高校) 活動紹介とフードドライブ ・12月19日(日):冬まつり(佐野市市民活動センター)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:23名(ふゆまつり) ・フードドライブや冬まつりの活動とおして、困難を抱えた保護者やその子どもたちに対する支援を積極的にに行い、子どもたちの豊かな経験につながる体験活動を企画することができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:100,306円) 【構成員】 代表:大鹿哲太(社会人) 社会人2名、黒磯南高生2名</p> <p>【事業名】 未来(社会教育)を学ぶ、地域の学校～世代間交流の場を作る～</p> <p>【事業の概要】 ○地域の空き家を改修して青少年の居場所とし、活動拠点としながら季節に合わせたイベントの企画や地域住民を講師としたワークショップを開催することで、世代間交流の場を創出する。</p> <p>・7月21日(水):近隣挨拶 ・7月23日(金):草刈り、近隣挨拶 ・7月31日(土):草刈り、改修作業 ・8月1日(日):土地建物小雨者への事業説明 ・9月19日(土):草刈り、外壁塗装、清掃・畳張替 ・10月24日(土):改修作業とワークショップ ・11月20日(土):ぶつぶつ交換会 近隣小学校でのちらし配布 ・12月26日(日):ぶつぶつ交換会</p> <p>【事業の効果】 ○空き家改修作業を行い、地域の課題解決を行う拠点作りを進めることができた。 ・改修作業に合わせて地域住民や関連企業、団体と連携したイベント等を企画し、地域を支える「つながりの輪」を広げることができた。</p>

令和4(2022)年度

団体名	あきやのよろずや	NOBA	国分寺特別支援学校高等部サービス班
所在地	宇都宮市	宇都宮市	下野市
事業の概要	<p>(A:チャレンジコース(短期)/事業規模:32,789円) 【構成員】 代表:白金励大(宇都宮大学地域デザイン科学部) 宇大生16名、宇都宮市職員</p> <p>【事業名】 あきやのてらこや</p> <p>【事業目的・実績】 ○定期的に寺子屋を開催し、地域の人に開かれた場所として機能させていく。“勉強や悩み事の相談などを大学生と一緒にできる”をコンセプトとして、子ども達の集いの場、人々のサードプレイスとなるような場所を目指す。また、子どもだけではなく、保護者や地域住民同士の交流を図り、地域内の繋がりを広げていく。</p> <p>・9月23日(金)、24日(土)、25日(日) ・10月15日(土)、16日(日)、29日(土)、30日(日) ※会場はすべて、宮原1-2-24</p> <p>【事業の効果】 ・今回活用している空き家での「あきやの駄菓子屋」の活動実績を生かし、地域の子どもたちへの学習支援やさまざまな体験の場の提供を行うことで、「子どもたちの第三の居場所＝サードプレイス」としての役割を果たすことができた。5回のイベントをとおして、複数回参加する子どもたちが多く見られた。</p>	<p>(A:チャレンジコース(短期)/事業規模:48,739円) 【構成員】 代表:高橋剛志(宇都宮大学地域デザイン科学部) 宇大生12名</p> <p>【事業名】 障がい者福祉サービス</p> <p>【事業目的・実績】 ○障害の有無による体験格差をなくすことを目的に、障がい児向けの体験型イベントを月1回行う。第1回から第3回の活動では感覚遊びを取り入れたものづくり体験を主に行い、参加子供たちが感覚を知ることや受け入れること、それぞれの興味関心を見つけることを目的とする。</p> <p>・10月30日(日):子ども科学教室 ・11月27日(日):秋の工作教室 ※オンライン対応 ・12月18日(日):クリスマスイベント ・1月22日(日):絵具で昔あそび体験 ・2月18日(日):家族で作ろうお菓子のいえ</p> <p>【事業の効果】 ・対象となる児童生徒の実態に合わせた内容の設定と体験の場の確保、安全面への配慮について、専門的な知識を有する団体や大学の指導教官からの助言を受けながら事業を進めることができた。また他団体のイベントやラジオ出演等による団体の広報を積極的に行い、安心して活動に参加してもらえ環境づくりに努めることができた。</p>	<p>(A:チャレンジコース(短期)/事業規模:48,911円) 【構成員】 代表:大橋和輝(高等部サービス班) 高等部サービス班10名、教職員</p> <p>【事業名】 「私たちの手で地域をきれいにし隊」</p> <p>【事業目的・実績】 ○通学路の美化活動やあいさつ運動を通して、地域との交流を深める。</p> <p>＜いちご一会花育て隊＞ ・4月～6月:種まき ・6月～7月:花植え ・9月～1月:鉢植え管理</p> <p>＜いちご一会きれいな街で迎え隊＞ ・9月29日(木):清掃活動(小金井駅・郵便局周辺) ・11月8日(火)、21日(月)、28日(月)</p> <p>【事業の効果】 ・県が団体に合わせて進めていた2つのプロジェクトに積極的に参加し、生徒の「誰かの役に立ちたい」「人のためになることをしたい」という想いに沿った主体的な取組を行うことができた。また、地域の方々と連携して活動を行い、生徒たちが地域に貢献する機会を創出することができた。</p>

団体名	子ども科学ラボ	Asian Teenagers Conference とちぎ	棚田復活プロジェクト
所在地	宇都宮市	佐野市	茂木町
事業の概要	<p>(B:ステップアップコース(中・長期)/事業規模:51,453円) 【構成員】 代表:斎藤すみれ(宇都宮大学農学部) 宇大生14名</p> <p>【事業名】 子ども向け理科実験教室</p> <p>【事業目的・実績】 ○小学生や未就学児向けの理科実験教室をとおして、子どもの身近な地域に好奇心を伸ばせる場所を作り、地域と子どもがつながるきっかけを作る。</p> <p>・8月11日(木):土の中の生き物を探してみよう ・9月18日(火):パブロケット ・10月30日(日):植物と光のひみつ ・11月27日(日)※中止 ・12月25日(日):科学の光を見てみよう</p> <p>【事業の効果】 ・定期的に子ども向けの理科実験教室を開催した。参加する子どもたちの目線に合わせて内容を検討したり、簡単に手に入る材料を用いたりすることで科学をより身近に感じられるように工夫しながら事業を進めることができた。また、団体のイベントへの積極的な参加により、子どもたちの体験の場の確保に努めることができた。</p>	<p>(B:ステップアップコース(中・長期)/事業規模:37,286円) 【構成員】 代表:木村香乃音(佐野高校) 佐野高3名、社会人1名</p> <p>【事業名】 Finland Schoolをぎゅつと体験!ぐつとな思い出!</p> <p>【事業の概要】 ○世界の中でも幸福度・教育スキル共に高い北欧の授業形式を体験してもらい、自己の学習や学校の授業に取り入れてもらう。</p> <p>・9月20日(火):構内pilot study(佐野高校) ・12月11日(日):異文化交流会①(佐野市文化会館) ・12月18日(日):異文化交流会②※中止 ・1月28日(土):校内シンポジウム ・2月17日(金):ブース展示</p> <p>【事業の効果】 ・高校の総合的な探究の時間における学習成果を十分に生かして事業を計画することができた。日本とフィンランドの違いを体感するためのゲームや食文化体験を取り入れたイベントを実施し、参加者が両国の文化について理解を深めることができた。</p>	<p>(B:ステップアップコース(中・長期)/事業規模:128,787円) 【構成員】 代表:伏本 遥(宇都宮大学農学部) 宇大生24名、社会人1名</p> <p>【事業名】 棚田復活プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○茂木町の地域住民と宇都宮の大学生が、耕作放棄地だった棚田での米づくりや大豆づくりをとおして交流を深め、里山の景観・環境を保全する。さらに、自分たちで育てた大豆で豆腐や味噌づくりに挑戦することで食文化の継承、食と農のコミュニティづくりへと団体の歩みを進める。</p> <p>・7月10日(日):大豆種まき ・8月15日(月)、28日(日):大豆摘心・土寄せ 排水路作り ・8月7日(土)・28日(土):草取り・防護ネット設置 ・9月25日(日):稲刈り・おだかけ ・10月9日(日):脱穀 ・11月27日(日):大豆収穫 ・2月19日(日):味噌づくり ※会場はすべて、茂木町早坂の家、早坂の棚田</p> <p>【事業の効果】 ・中山間地域の棚田の景観維持や周辺の環境保全、地域住民との積極的な交流を行い、昨年度の事業をブラッシュアップして大豆の栽培・加工に取り組むことができた。また、昨年度の課題を踏まえた栽培方法の工夫・改善に努めることができた。</p>